

令和6年度 学校経営方針

1 はじめに

神南小学校で学ぶことに誇りをもち、互いの違いを認め高め合う豊かな心と時代の変化に柔軟に対応する知性を備え、たくましく未来を創造していく子どもたちの育成を目指し、次の学校経営方針を設定する。

【令和5年度学校評価】

※◎前回より上昇・維持 ▲前回より減少

- ◎「明るく楽しい生活する雰囲気」約91%
- ◎「協働的・対話的な学びのある授業」約83%
- ◎「基本的生活習慣を育てている」約90%
- ◎「子供や保護者に誠実に対応」約89%
- ▲「進んで挨拶をしている」約71%
- ▲「学校の特色が表れている」約74%
- ▲「思いやりの心を育む教育」約76%
- ▲「シブヤ未来科で自ら課題設定・発表」約65%
- ▲いじめ対応の未然防止等 約57%

今後の取り組み

- ・児童、保護者への丁寧な対応
- ・生活習慣改善の取組への理解
- ・児童主体による学びの転換
- ・挨拶励行の継続
- ・特色ある教育の充実
- ・人権教育推進
- ・探究的な学びの充実

神南小学校 教育目標

心もからだも健康で
明るく力いっぱい
生きる子どもを育てる

◎心豊かで思いやりの
ある子ども

◎たくましくねばり
強い子ども

◎よく考え
くふうする子ども

※ ◎は重点目標

【国や東京都・渋谷区の施策】

- 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して
(中央教育審議会作成)
 - ・「新学習指導要領の着実な実施」
 - ・「ICT活用」
- 「こども大綱」(R5・12・22 閣議決定)により
「こどもまんなか社会」
- 東京都教育施策大綱
 - ・子供の個性と成長に合わせて意欲を引き出す「学び」
 - ・子供の成長を社会全体で支え、主体的に学び続ける力を育む「学び」
 - ・ICTの活用によって、子供たち一人ひとりの力を最大限に伸ばす「学び」(教育×DX)
- 渋谷区教育委員会施策の方向性、重点事項
 - ・子供が主語となる教育活動を通して「自己調整力・想像力・挑戦力」を育てる
 - ・シブヤ未来科を主とした探究的な学習推進
 - ・タブレット端末を文房具とする学びの変換
 - ・教育データの活用

【本校職員による令和6年度に向けての検討会議】

- ・全校道徳や特活、生活指導の充実化による、あいさつを含めた更なる規範意識の育成
- ・特別支援教育についての理解教育の更なる推進
- ・いじめや不登校対策における校内の情報共有の強化並びに関係機関との連携強化
- ・生活科・総合的な学習の時間による学習サイクルの定着化
- ・全教科等・領域における授業デザイン力の向上・ICTの更なる利活用
- ・学年担当(副担任)制度をはじめとしたサポート体制の更なる充実
- ・教科担任制の推進
- ・OJT研修の充実。
- ・コミュニティスクールの推進・協働事業の充実

2 様々な教育課題を解決するための3つの柱

- 「社会に開かれた教育課程」の実現
- 学校マネジメントを踏まえた「チーム」としての教職員の意識改革
- 保護者及び地域、そして行政・関係機関との連携・協働体制の確立

3 目指す学校像

- (1) 子供が自分のよさを存分に発揮できる学校
- (2) 保護者に信頼され 安心して子供を任せられる学校
- (3) 地域と信頼関係を築き、地域の教育力を生かす学校
- (4) 教職員が互いに尊重し合い、自分の力を存分に発揮できる学校

4 学校経営の基本方針

- | |
|---|
| (1)人権教育の充実と多様性の理解、思いやりの心の育成
(2)学習指導要領の目指す学びの着実な実現
(3)安全・安心への最善の取組及び徹底
(4)「チーム神南」としての組織力・総合力の向上 |
|---|

5 学校経営基本方針の具体策

【基本方針1】人権教育の充実と多様性の理解、思いやりの心の育成

- 互いの違いを認め高め合う豊かな心を育成していく。
- 学校生活のきまりが記載されている「神南のよいこ」について共通理解を図り、全教職員が同じ意識をもって指導する。あいさつを中心とした言語環境作りに努め、言葉遣いや集団生活での礼儀やマナーを身に付けさせる。
- 「神南小学校いじめ防止基本方針」を踏まえ、未然防止や早期解決に向け迅速な対応を行う。人権教育及び多様性尊重の視点をもって教育活動を行う。

【基本方針2】学習指導要領の目指す学びの着実な実現

- 主体的・対話的で深い学びを視点した授業改善を通して、授業力の向上に取り組んでいく。
- 「シブヤ未来科」の学習を全学年で実施し、児童自らの思いや願いを伝える力の育成を図るとともに、様々な学習課題を「自分ごと」として捉える力をもたせていく。
- 児童が主体的にタブレット端末を用いて、デジタル教科書や各学習ツールの活用を図るとともに「デジタルシティズンシップ教育」の充実に努める。

【基本方針3】安全・安心への最善の取組及び徹底

- 感染症防止の状況に応じて迅速かつ、適切な対応を図る。
- 児童のけがや体調不良、食物アレルギー等、保護者との連絡を密にとるとともに、組織的に迅速な対応がとれるように、不測の事態を避ける。
- 校外における事故防止のため、日常的に関係機関と連携を取る。また、事故発生に際しては、受傷児童の被害を最小限にする措置を第一として対応する

【基本方針4】「チーム神南」としての組織力・総合力の向上

- コミュニティ・スクール・PTA・神南ひまわりずを基軸とした学校支援体制を確立していく。
- 教育公務員として、そして「基幹校」としての「自覚」と「誇り」をもつ。また、教職員自身が健康を保つために、働き方改革の更なる推進に努める。



本校は、特別支援教室拠点校、特別支援学級設置校であることから、違いを認め高め合う「やさしさ」が児童に培われてきているはずです。学校全体でこの児童のよさをとらえて価値付け、醸成してまいります。

急激に変化していく社会を見据え、子どもたちが未来を切り拓いていくために必要な資質・能力とは何かを捉え、日々授業改善してまいります。